

2012年1月26日

Caterpillar社  
2011年第4四半期決算リリース(要約)  
即時リリース用

## **Caterpillar 2011年第4四半期および通年で売上・利益ともに最高値を記録** **2011年利益は前年比83%増**

*勢いに乗り2012年売上予測を680億ドル～720億ドルへ引き上げ*

(イリノイ州ペオリア発) — 傑出した実行力と好調なグローバル需要を推進力に、Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) の2011年売上高は601億3,800万ドルという記録的な数字となり、前年の425億8,800万ドルから41%もの上昇となりました。同じく2011年利益は49億2,800万ドルで、前年の27億ドルから83%の上昇となりました。1株当たり利益は7.40ドルで、前年度の4.15ドルから78%の上昇となりました。Bucyrus International, Inc. (Bucyrus) 買収に伴う影響を除くと、2011年度の1株当たり利益は7.79ドルで、前年比88%の上昇となりました。

2011年第4四半期の売上高は172億4,300万ドルと四半期での史上最高値を更新、前年同期の128億700万ドルから35%の上昇となりました。同じく第4四半期の利益は15億4,700万ドルとなりました(前年同期9億6,800万ドル)。1株当たり利益は2.32ドルで、前年同期の1.47ドルから58%の上昇となりました。

CaterpillarのDoug Oberhelman (オーバーヘルマン) 会長兼CEOは、「当社の戦略はお客様にしっかりとフォーカスすることであり、2011年には、従業員、サプライヤ、ディーラが揃ってそれを達成してくれました。製品品質を向上させ、生産能力拡大、製品開発、マーケットポジション改善のための大規模な投資を実施しました。さらに、BucyrusおよびMotoren- Werke Mannheim Holding GmbH (MWM)という、2件の大型買収も完了させました。大きな戦略的適合性を有する重要な成長部門における買収であり、お客様にこれまで以上に幅広い分野の製品を提供することが可能となります」と述べました。

同会長兼CEOは、「また株主の皆様にも、1株当たり利益で従来の最高値であった2008年の5.66ドルを30%以上も上回る非常に優れた業績をお届けすることができました。建機と発電機事業 (M&PS) での営業キャッシュフローが80億ドル近くへのぼるなど、キャッシュの創出という面でも非常にうまく行った年でした。当社の歴史で最高の年だったと思います」とも述べました。

さらに同会長兼CEOは、「2011年の売上高の上昇率は、1947年以降における最大の伸びを記録しました。この上昇の背景にあるのは米国外でのCaterpillar製品・サービスへの需要増です。その結果、2011年には米国からの国外輸出が200億ドル近くという記録的規模に達し、米国内での数千の雇用を下支えし、自由貿易の利点を目に見える形で示すこととなりました。売上と輸出の増加は国内と海外の両方で雇用を生みだしています。買収によるものを除いても、2011年中に当社の人員はグローバルで14,000人増加しました。2010年の年初から見れば増加は33,000人を超えており、うち14,000人が米国内での雇用です」とも付け加えました。

## 2011年の成果

大多数の事業分野で大幅な成長を達成したこと、また戦略をアップデートしその実行にフォーカスしたことが、2011年度の記録的な業績の礎となりました。当社の戦略は、お客様に提供する付加価値をさらに高める「製造上の卓越性 (Operational Excellence)」を中心に据えています。2011年には社内の幅広い業務分野においてそれがさらに改善されました。

- Caterpillar生産システム (CPS) はCaterpillarにしっかりと根付いており、安全・品質・納期・効率性の各側面を向上させる主要な推進力となっています。2011年にはこの各側面の改善に引き続き取り組み、その多くで新記録を達成しました。
- 従業員、外注業者、訪問者の安全はCaterpillarにとって基本的価値観であり、ゆえに2011年に全社安全指標が再び上昇(安全実績は2003年以来83%上昇)したことを喜ばしく受け止めています。
- お客様にとって重要な側面である製品品質については、2011年も引き続き製品の信頼性においてかなりの改善がはかられました。
- 2011年に需要が相当の伸びを示したことを受け、工場およびサプライヤの生産量を増加させました。その結果はすばらしいもので、大幅な生産増を達成するとともに、納期順守率が改善されました。この場を借りて、当社のビジネスをサポートしてくれたサプライヤ各社に御礼を申し上げます。
- 2011年は当社製品の多くについて生産能力を超える高い需要がありました。年間を通じ、世界中の当社工場で、サプライヤと共に、お客様をサポートするための生産増強に投資を行いました。このような増強および2012年に予定される追加投資にもかかわらず、多くの製品で依然需給が逼迫しており、現在も一部の製品については見積り時に納期が長めに設定されています。例えば、大型トラックの大半のモデルでは納期が2014年にずれ込む前提の見積りとなっています。
- 2011年には米国および欧州での新排ガス規制に関連して重要な新製品導入が実施されました。当社の歴史上最大規模の新製品開発プログラムは引き続き展開されます。これらの新製品の導入は順調で、ディーラーやお客様からも非常にポジティブな反応をいただいています。
- アフターマーケット部品の在庫についてもお客様のための取り組みを行いました。2011年には納品実績で相当の改善が実現されました。
- 業界全体にとっていい年であったとはいえ、Caterpillarにとってはそれ以上に有益な年でした。総体的に、また大多数の製品において、売上の伸びは業界平均を上回りました。品質の向上、納期順守、生産増強のための投資、サプライヤのパフォーマンス、わずかな価格上昇などの全てがお客様にとっての付加価値向上とCaterpillarにとっての業績向上につながりました。
- 1年半の間に立て続けに3つの大型買収を行いました。この3社、Bucyrus、Electro-Motive Diesel (EMD)、MWMのCaterpillarへの統合は優先事項として大きな焦点が当てられており、これまでの進捗は満足いくものとなっています。
- 運転資金指標に関しては、2011年にはとりわけ売上債権と仕入債務に関し大きな改善がなされ、M&PS部門での記録的な営業キャッシュフローの創出に重要な役割を果たしました。

- リーダーシップ育成も会社の長期的な成長に不可欠です。2011年には新たなリーダーシップ育成プログラムへの投資を実施しました。このプログラムは、パフォーマンスの高いチームを構築し、幹部層に将来に備えた準備をさせるためのものです。2011年度には7,000人以上がこのプログラムに関与しました。

## **2012年の展望**

2012年の売上高は680億～720億ドルの範囲と見込んでいます。1株当たり利益は、売上高が予測幅の中間値である場合で、9.25ドルの見込みです。この予測には、2011年に完了した2件の大型買収案件(BucyrusとMWM)の通年業績が織り込み済みです。

Oberhelman会長兼CEOは、「2012年も引き続き高成長を見込んでおり、戦略実行に焦点を当てていきます。2012年にすべきことは多くありますが、とりわけ4つの領域を重視しています。品質改善への継続的取り組み、製品開発への投資、買収先の統合、そして生産能力拡大です。当社の多くの製品で需給が非常に逼迫しており、既存・新規工場両方への投資を継続していきます。資本支出と研究開発への投資によって当然ながら2012年の費用は増加しますが、これこそまさに今やるべきことだと考えています。2012年にはまた、当社の2大市場である米国と欧州で建設活動が依然停滞している時期においても、売上高を更新できると予測しています。従業員とサプライヤはお客様によく尽くしてくれたと思いますが、今後もさらに、2012年以降の先進国での回復と新興国での継続的成長に備えておかなければなりません」と述べました。

同会長兼CEOはまた、「2011年のM&PS資本支出に対する投資額は26億ドルで、その60%近くが米国内での投資でした。2012年に関しては、40億ドル程度の資本支出を見込んでいます。Caterpillarは現在、投資を実行し、かつてないレベルに成長しようとする過程において、しっかりとお客様にフォーカスし、改めて危機感を持つ企業へと変貌を遂げようとしています。設定済みの2015年のゴールを心待ちにしていますが、その達成にはこれまで以上に確信を持っていますし、達成に向けさらにスピードを上げているところです」とも述べました。

- ※ リリース本紙(英文)は、別添のPDFファイルをご覧ください。また、Caterpillar社ホームページでもご確認いただけます。  
<http://www.caterpillar.com/>